

「防災("S) 未来構想プロジェクト (第2回会合)」
議事録

内閣府政策統括官 (防災担当)

「防災("S) 未来構想プロジェクト (第2回会合) 」 議事次第

日 時 平成&年2月2日(火) %.\$S~&% \$\$
場 所 中央合同庁舎8号館8階特別中会議室

1. 開 会

2. 河野大臣挨拶

3. 事務局説明

4. ゲストプレゼンテーション

・ 早稲田大学大学院ファイナンス研究科 森平 爽一郎 教授

5. 有識者委員プレゼンテーション

・ 黒川 清 委員

・ 高瀬 香絵 委員

6. 意見交換

7. 今後の予定

("S

(" \$

D%

% " \$

&" \$

&" \$

' " \$

(" \$

(" \$

(" \$

D

(" \$

67D

(" \$

(" \$

D%

&+

&+

%SS %) \$
' SS) SS

%ZSSS

D&

&*

D

â

' %

+S

D

&

D%&

&S%& %& &

') \$

()

D%

D%(

%*

%)

*žSSS

%ž, SS

%ž, SS

%)

D%+

%+

D%

%

'žSSS

&žSSS

&S

%

&&)

&&)

&S

%S

D%

%

%S

- S

D&% D&&

&%

75H

fl

75H L

fl

L

%ZSSS

>5

75H

D&

&

%S

*

D&

&

>5

>5

D \$

' S

' SS

' SS

>5

' SS

D & ''

' &

''

D)

')

D()

(+ D+

>F

D(-

(-

)&

'\$

&SS* &S &S *& &S %
-žSSS)SS

%SS

&SS- &S%S

%

D()*

)()*

(

!

%%

D&
(" \$

% -- %& ' %

&SSS

D
&SSS

=H

&SS%

MUcc'

66

' žSSS

&SSS

K]_
D(

]H bYg

&SSS

5` cbY` Hc[Yh\Yf flG\Yf fmH f_` Y

L

VW

D)

D*

] DUX

&S%S

D+
&SS% &% - "%%

D
&SSS =bWbj Yb] Ybh· Hfi h\ &SSS
=D77

D-

D%\$
&S%& &S%(D%& %
D%&

K]_] :@YU_g

D%* %
=G=G

D%
&S%\$ %& %
&SS

&SS

D&S

D%

D&%

%% %
D&&

D& .
D&(.
%- \$
=bhYf! XYdYbXYbh
&SSS K]_] ; cc[`Y %- , K]_] ; cc[`Y

D&)
6` UW` GkUb` 9j Ybhg
&SS% - %% &SS, - %) &S%S
%& % &S% % % &S%) % % %

(" \$
D&* .
\$ %SS %) &S ; 8D` dYf`
Wld] hU` dYf` di f WUg] b[! dckYf! dUf] hm *\$ %\$ +\$
6F=7G

C978

9I

D&+ .
; `cVU` KYU h\` =bYei U] hm
&S%(

, \$
) \$
%\$ - \$
* &) \$
' , , %++ %) - - & , \$
* &) \$

D&

9I

&S ' \$

' \$

]D\cbY
&&S+ &&S+
]D\cbY]D\cbY*]D\cbY

, S %\$

;9 ;9

D \$

:H

&&S&

&&S,

D %

&S%(

D &

D'

D (

D)

%S

D*

=F=8

("S "'S

D +

B; C

D%

G 7

78D

B; C

D&

D

%--

%%

&%

'S

'S

D

D)

: 5L

: 5L

%

D*

: 5L

%

D+

D,

: 5L

GBG

("S

D-

(" \$

B, C

@7G

D%\$

GBG

D%%

B<?

D&

') S

) SS

') S

=595

GUZYWgh

B; C

GBG

%

('\$

&"\$

('\$

%\$\$

5 of 6

GD998=

cbYcZ'h\Ya

GD998=

GD998=

) S

' " %%

' " %%

GD998=

' " %%

CBG

CBG

Hk] hhYf

(" \$

(" \$

cbYcZ'h\Ya

%SS

%S%

' "%%

それをセットでつくっていかない限り、なかなか黒川さんおっしゃるように、現代日本人の国民性を変えるというのは大変ですから。最初に森平さんがおっしゃったドイツで保険の査定をやる。これもある種の現場性、身体性みたいなものを保険という形にしたということではないでしょうか。しょっちゅう査定をやられていると、身体性、現場性はそこに身についてくるわけです。ですからいろいろなレベルでそういうことをやっていれば、政府もその現場性を組み込んだ対応をするようになる。今は制度とマニュアルに基づいて指示を出して、これでやれみたいなことを言うので、そこを防災に関して覆すというのが大事なのではないかと思います。

○船橋委員　ただ、ものすごい大きい災害のときにオンデマンド方式ではなかなかうまくいかないということもあると思うんですよね。これは2.0の教訓で、神戸市長も、兵庫県知事も、自衛隊を自ら阪神淡路大震災の時はオンデマンドで直ちに出勤要請しなかった。下からのサブシディアリティー原則のようなものは大規模災害にはなじまないのではないのでしょうか。

○黒川委員　最後に原発のこと。先々週もオタワ大学に行きましたが、カナダの原子力安全委員会がワークショップをやりたい、と。今のような世界の状況だとテロの攻撃というのは結構確率が高いような気がする。言わないけれども。この間、原子力規制委員会では、それはまだ5年先ぐらいに考えましようと言っている、と。そういう話ではない。これが後で想定外でしたなんて言ったらどうなるのですか。今の状況ではあり得る話です。これはこの防災に入るのかしらというのが1つ。

2番目に船橋さんも指摘して分かったけれども、今の原子力は自衛隊で全部守られているわけですか。それさえやっていないではないのですか。それで想定外でした、なんて言われたくないよね、という感じです。

私たちの委員会はみんな公開しているから見ているけれども、柏崎の後、免震棟をつくった。免震棟が福島ではちょうど間に合っていてできていたから、国会事故調で、東電の清水さん、最後何かありますか、と言ったときに、委員会のビデオを見たら分かるけれども、何て言ったと思いますか。あの免震棟ができていたから本当に助かりました、と。それを今度また川内の話、こういうことが平気で起こっているところにこそ、ガバナンスがないということなのです。

だから何でまた政府と言うと、政府はどうしても失敗してはいけないと思うから、どんどん固くなるわけで、加藤さんが言うように自治体で何をするか、それをどのように上げていくか、どうやったらいい自治体のそういうものができているよねというモデルをもっと見せることが大事。10年前の「イノベーション25」でも読み返したら出ているけれども、これからはNPOがすごく大事になってくる、と。NPOがやったことはいいのであれば、それを横へ横へと広げてやるのが政府の役割だという話をしている。

最初に言ったように日本はこれから人口が減る、高齢社会になる、過疎化になる、国の金はない、成長する可能性はどうか、借金がどんどん増えてどうする、という枠組みで考

えないと、なかなか難しいのではないかと思います。

○松井委員 規模の問題ですよね。どういう規模を想定して、その想定に応じてどのようにしていくのかという発想がないと、全ての防災システムが一律にはいかない。ここで言われていることは、スケールによって全て違うシステムになるから。

○黒川委員 地方自治体でかなりできることがあるのではないか。集約していく富山市みたいな話とか、そういうことを自発的にやっている。広く見せることがすごく大事だと思います。

○河野大臣 原子力とテロは、そこから引き出せる教訓は生かすとして、それぞれのものは4.0の対象ではありませんが、そこから引き出して役に立てる教訓というのは当てはめたいと思います。

そろそろお約束の時間なのですが、今日の中で何かまだ御発言をとというところがあれば最後によろしいでしょうか。少しいろいろな視点で整理をして、次の議論の前にはもう少しこういう議論をとという枠をつくって議論をお願いしたいと思っております。

ほかに何か特によろしゅうございますか。それでは、次回は3月1日の火曜日にお願いをしたいと思います。少しこれまでの議論のポイントを一度整理して、またさらに次回のプレゼンテーションで新しい視点を加えていきながら議論をしてみたいと思います。今月の21日には荒川区で住民の皆さんの防災に関する会合がございますので、そこで意見交換の場というものをやりたいと思っております。加藤さん、江守さんには御参加をいただけると伺っております。ほかの委員の皆様でも御参加いただける方は、ぜひお願いしたいと思います。休日でございますが、もし御参加いただけるならばお願いをしたいと思っております。

今日御参加いただきました森平先生、どうもありがとうございました。大変面白い話をありがとうございます。

それでは、今日はこの辺で終わりにさせていただこうと思います。どうもありがとうございました。